

新聞・雑誌から見る現代日本

しんぶん ざっし み げん だい にほん

◆ 第21回 ◆

だい かい

もったいない

このコーナーでは、新聞・雑誌の記事を通して現代日本事情を紹介するとともに、日本語を教える先生方が、新聞・雑誌の記事などの生教材をどうやって教材化し、中・上級の日本語の授業にどう活用できるかを提案していきま。今回は「もったいない」に関する記事を取り上げますが、実際の教室活動の流れにそって質問と記事を提示しました。

「読む前に」と<キーワード>の部分は、いきなり記事を読ませるのではなく、記事に関する背景知識を整理して、読む準備をさせることを目的にしています。「読む前に」の質問は、学習者が話題に関してどんな情報やイメージを持っているかを引き出したり、記事の内容を予測させたりすることで、記事を読む意欲を高めることを狙っています。「読んだ後で」の質問は、学習者に記事を読んで自分の頭の中に作り上げたイメージを表現させたり、記事への反応を他の学習者と交換させたりすることを目的にしています。

読む前に

よ まえ

ノーベル平和賞を受賞したケニアの環境活動家、ワンガリ・マータイさんが日本語の「もったいない」という言葉に共鳴しているというニュースが話題になってから、「もったいない」という言葉が見直されて、環境問題のキーワードにもなっています。

さて、「もったいない」とはどういう意味でしょうか。ただ単に「無駄だ・惜しい」だけの意味ではありません。辞書にはいくつかの意味が上げられています。今話題になっているのは「人や物が本来の価値にふさわしい扱いをされないでいるのが残念だ。物の価値を無駄にして不満である」の意味での使い方です。例えば「この服はまだ着られるのに捨ててしまうのはもったいない」などと使います。

「もったいない」はもともと恐れ多いという気持ちから出た言葉で、大切に扱われるべき高貴で価値のあるものがそれに見合う扱いがされずに、粗末に扱

われたり無駄にされたりするときに感じる申し訳ないという気持ちのときに使っていました。

物の価値を認めて心をこめて大切に使い、その価値を十分に生かす使い方や考え方がこれからの資源保全にも役立つことになってでしょう。

<キーワード>

食品廃棄物、賞味期限、回収、欠品、返品、削減

質問1：記事の写真は次のどれだと思いますか。

- ①あるコンビニ*で出た一週間分のごみ
- ②あるコンビニで出た三日分のごみ
- ③あるコンビニで出た一日分のごみ

質問2：あなたは日常生活のなかでどんなことを

「もったいない」と感じますか。

*コンビニエンスストアの略称。年中無休で小規模の店舗ながら多品種を扱う小売店のこと。

300万人分捨てる

食の現場から MOTTAINAI

もったいない

コンビニ・スーパー

① 関東地方にある大手コンビニエンスストアの店舗。午後4時前になると、男性店員がおにぎりや弁当などの賞味期限をチェックし始めた。期限まで2時間を切った商品を選び、カゴに移し替えていく。商品がごみに変わる瞬間だ。翌日には廃棄物として回収される。

② このチェーン店では、午前0時、9時、午後4時の3回、賞味期限をチェックする。おにぎりやサンドイッチなど期限が1日未満の商品は、期限切れ時間の2時間前に捨てる。パンなど期限が数日のもものは24時間前、牛乳なら4日前だ。こうした廃棄基準は特別に「販売期限こそあれ、大手コンビニで大差はない。お客様が持ち帰った後、消費する時間を考慮するため」（同チェーン店広報）で、商品を賞味期限ぎりぎりまで売ることがない。原則としてスーパーのように値引き販売することも認められていない。

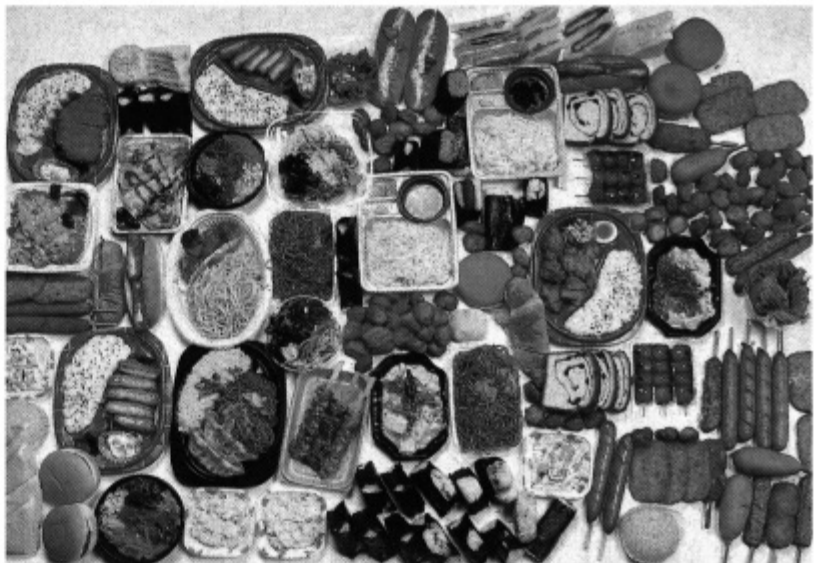
③ おにぎり、卵サンド、幕の内弁当……。この日の廃棄は75点、約1万6000円分。昨年はいこうした調理済み食品、約450万円分を捨てた。これは調理済み食品の売り上げの8%にあたる。「開店して十数年、弁当類を売り切ったことはない」と店主は言い切る。見込みより1割程度を余分に仕入れるからだ。なぜか。

④ 店の場所は半径500メートル以内の幹線道路沿いに6店がひしめく「コンビニ激戦地」。最近、持ち帰り弁当店も出来た。「もっと品ぞろえを充実させて」。巡回に来る本部の指導員の言動もプレッシャーになる。「捨てたくないが、欠品したらお客様は逃げるんです」。結果として、消費者の厳しい目が、大量のごみを生み出す。「まだ食べられるのに、本当にもったいないと思う。世界には飢えた子どもが多いと聞くが、何とかならないものか」。廃棄食品の山を前に店主の心は痛む。

⑤ 全国のコンビニやスーパーなど小売店から出た賞味期限切れや返品などの売れ残り食品は膨大な量になる。農水省の推計によると、その量は約60万ト（03年度）。国連世界食糧計画日本事務所のデータによると、人が1日に必要な食物摂取量は約500g。単純に計算すると300万人以上の食事を毎日捨てていることになる。

⑥ コンビニで調理済み食品が大量に捨てられる背景には、本部の懐が痛まないシステムを指摘する声もある。仕入れの段階で店側がほとんど買い上げるためだ。

⑦ 「コンビニは便利さを提供する一方で、たくさんの商品を捨ててきた。膨大な廃棄が出る仕組みは、変えなければ」。業



⑧ 「もったいない」という言葉を生み出した日本では、進化を遂げたコンビニは現在、全国で約4万店。昼夜問わず商品を提供。便利さの裏返しに大量の食品がごみとなっている現状に、経営者からも見直しの声が上がりを始めた。【大迫麻記子】

読んだ後で

よ あと

質問3：見出しの「300万人分捨てる」ということを詳しく書いてあるのは、第何段落ですか。その段落をよく読んで（ ）に適切な言葉を入れてください。

日本全国のコンビニやスーパーから出る賞味期限切れや返品などの売れ残り食品の量は、一年に約（ ）トンである。これを一日にあてはめると（ ）人分の食事に相当する。日本では毎日これらの食品が捨てられていることになる。

質問4：次の①～⑤は、記事の中でどういう意味で使われているでしょうか。ア～キの中から適切なものを選んでください。

① ひしめく

② 激戦地

③ お客さんが逃げる

④ 心は痛む

⑤ 懐が痛まない

ア. お客さんが恐がって来なくなってしまうこと
イ. お客さんがほかの店に行ってしまうこと
ウ. 自分のお金を出さないこと
エ. すまないという気持ちで苦しくなること
オ. 競争相手が多く商売が大変なところ
カ. 危険なところ
キ. 一つのところに同類ものが多数集まっていること

質問5：記事の中のコンビニで、大量の食品廃棄物が出る理由は何ですか。

質問6：第1段落～第7段落までを序論・本論・結論に分け、それぞれの内容を一文で表してください。

質問7：【発展・話す練習】第7段落でコンビニ会社の社長が「膨大な廃棄が出る仕組みを変えなければ」と言っていますが、どう変えればいいと思いますか。グループに分かれコンビニ会社の役員になったつもりで改革案を考えてください。次に、各グループの改革案を発表し、実現性や採算性の観点からどの改革案がいいか話し合ってください。

<解答例>

かいとうれい

質問1：③

質問2：(省略)

質問3：第5段落。60万。300万。

質問4：①キ、②オ、③イ、④エ、⑤ウ

質問5：欠品（売り切れる商品）が出るとお客さんはほかの店に行ってしまうから、店側は1割程度余分に弁当類を仕入れ、その結果大量の食品廃棄物が出る。その上、品ぞろえを充実させるようにという本部からのプレッシャーもある。

質問6：序論は第1～2段落。賞味期限が近づくと商品がごみ（廃棄物）に変わる。

本論は第3～6段落。日本全体で見ると一日に300万人分の食事を捨てている。

結論は第7～8段落。現状に対し、経営者側からも見直しの声が上がりが始めた。

質問7：(省略)

今回取り上げたテーマや練習案についてのご意見をお待ちしています。また、今回の記事を使って授業をしたときの様子や結果などを編集部までお寄せください。このコーナーの担当：柴原智代、北村武士（日本語国際センター専任講師）